

広島市植物公園 見どころ案内

ミツマタ (ジンチョウゲ科)
中国原産。黄色い花が咲いています。枝が三つに分かれて出ることから、この名がつけました。昔は、紙の原料として使われていました。

ヤブツバキ

(ツバキ科)
東アジア原産の高木常緑樹で、桃色八重咲きの^{ほととぎす}不如帰などの品種が花をつけています。

トサミズキ

(マンサク科)
四国に多く分布し、高知県に野生種が広く分布するためこの名が付いています。早春から黄色い花を咲かせ、レンギョウやマンサクと同様に江戸時代から庭木や盆栽や切花として親しまれて来ました。

サンシュユ

(ミズキ科)
中国原産。薬用植物として江戸時代に伝わりました。黄色い花や赤い実が美しく、庭木として全国に広がりました。別名^{はるこがねばな}春小金花。

ゲンカイツツジ

(ツツジ科)
ツツジのなかでも特に花期は早いです。玄海灘をはさんで、九州北部、対馬、済州島、朝鮮半島などに分布しています。

カンヒザクラ

(バラ科)
沖縄で普通に見られるサクラです。沖縄ではソメイヨシノではなく、カンヒザクラに対してサクラの開花予想及び開花宣言が発表されています。

草木染の世界展

～3月31日(木)
いろいろな草や木を使った染色方法や芸術的展示をお楽しみください。
[展示資料館1階展示室にて]

モモ '関白'

(バラ科)
白花八重品種で、実を収穫する生食用品種とは異なり花を鑑賞する花モモです。また、切花としても栽培されています。

カランコエ

(ベンケイソウ科)
マダガスカル原産の着生種ユニフローラなど野生種が咲いています。

ゼラニウム展

～4月20日(水)
大正～昭和初期に流行した変わり葉ゼラニウムなど、貴重なコレクションもあります。
[展示温室にて]

ハンギング

バスケット
カスケード壁面に3つの巨大ハンギングバスケットを展示。パンジー、コニファー、オカメツタ、シロタエギクなどを使っています。
[日本ハンギングバスケット協会ハンギングバスケットマスター作]

クリスマスローズ

(キンポウゲ科)
百数十株の園芸品種を植栽。白、緑、紅など、見事に色づき、八重咲きもあります。

